



西東京市立ひばりが丘中学校

第2学年

第26号

令和6年10月7日発行

あいさつ・1分前着席キャンペーン

職場体験先の事業所から、アンケートが集まっています。稜線23号でお伝えしましたが、全体的にあいさつには課題があり、「もう少し元気がほしかった」「もっと反応してほしい」という評価をいただいていた人たちもいました。そこで学級委員で解決策を考え、学級委員や班長の声掛け以外に「あいさつ・1分前着席キャンペーン」を行うことが決定しました。授業前のあいさつができていたか担当の先生に確認し、〇の数を集計していきます。1分前着席もできているか学級委員が確認し、各クラスで競っていくそうです。キャンペーンをきっかけとして、当たり前になるようになることを願っています。

今回も、職場体験のしおりの中の『「働くということ」「将来のこと」について考えたこと』に書かれていたことを抜粋して紹介します。今回はB組です。

B組

今回、二日間の職場体験を通して、「働くということ」について学んだことがあります。それは、お客さんの笑顔のためにあるということです。店長に「この職業のすばらしいところはどんなところですか」と質問にすると、「地震（東日本大震災）があった際に、お客様に開いていてよかったといわれたこと」とおっしゃっていました。これを聞いて私はこのような仕事をしている人は、お客さんの笑顔のために仕事をしているのだと思いました。今後自分が仕事につくときは人が笑顔になるような仕事につきたいと思いました。

B組

ジーユーで働いている人たちは「利他の心」というのを大切にされていて、自分のためではなく、だれかのために働いていてすごいと思った。そのため私は、自分のために働いているのではなく、誰かのために働ける人になりたいと思った。また、ジーユーでは、ただの売買ではなく、お客さんに服を通して夢を与えようとしていてとてもよかった。私もいつか誰かに夢をあたえられる人になりたい。



B組

仕事とは、自分の好きなことでなければ、情熱をもってやるのは難しいと思います。好きなことができる仕事でも嫌なことや作業はあると思います。すべて自分がやりたいことだけできる仕事などないでしょう。だからといって、仕事をしないわけにもいきません。「働く」とは、社会の小さな一つの歯車として社会に貢献することだと僕は思います。でもそんな中でもやりたくないことを仕事にするより、自分がしたいことを仕事にしたほうが良いと僕は思います。

B組

職場体験を通して、働くことは自分の楽しみにもなること、他の人を助けることになることを知りました。子供と関わることはとても楽しかったし、発見がたくさんあっておもしろかったです。他の人を助けることは、保育士だったら親や子を助けることなり、何らかの役に立っていることに気づきました。私は将来保育士になるかはわからないけど、どの職業についても他の人の役に立ていることをモチベーションにしていきたいです。また、他の職業の人へも感謝していきたいです。

B組

「働く」意味は、人それぞれにあって、いろいろな良さがあると知った。今回行った事業所では、人の役に立ちたい、人の生活を支える職業につきたい、他の会社と関われる、推しのためにお金を稼ぎたいなどがあった。人によって働く理由は違うけれど、同じ職業を選んでいるということはすごいと思った。今回の事業所で働くことを体験して、今度は今の自分になりたい職業を体験してみたいと思った。

